

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ことばアドベンチャー江木校		
○保護者評価実施期間	令和8年1月17日		～ 令和8年 2月24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	令和8年1月 17日		～ 令和8年 2月24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月26日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	将来を見据えた一人ひとりに合ったプログラムで支援を行っている	自己肯定感を高められるよう、小さな成功体験を継続的に経験して頂けるようプログラムを展開している	地域連携の強化
2	子ども達自身が、理解しやすいプログラムスケジュールである	幅広い療育プログラムの提供	行事開催
3	専門的な知識と経験に基づいた支援でサポートしている	楽しみながら、新しい経験や沢山の言葉に触れ合う中で発語を促す	活動内容の拡充

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	新規事業所の為、地域連携等を展開中	更に地域に幅広く周知して頂き、連携を図って頂く	様々な場所に足を運び、事業所を知って頂き、繋がりを大切にしていく
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		ことばアドベンチャー江木校		公表日		令和8年 3月 6日		利用児童数	24	回収数	16
		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	1			・広くてきれい。 ・十分なスペースでとても良いです。 ・事業所としては十分だとは思いますが、願望としては、園庭みたいなものがあたら嬉しいです。				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	16				・多くて安心、良い先生(皆さん) ・適切だと思います。				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16				・自分用のロッカーやトイレ等、使いやすと思います。				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16				・きれいだと思います。				
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14			2	・通ってから成長して嬉しい。 ・カードを使ったり、遊びを通じて学んでいて楽しんで受けられています。 ・支援内容には満足していますが、園との連携にまだ不足を感じています。集団での様子をより支援して頂きたく、園とも連携を強化して頂けるとうれしく思います。				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16				・いつもHUGなどを拝見させて頂き、合っていると思います。				
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	16				・相談した事をくみ取って作成してくださっていると思います。				
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16				・言葉の面で、絵を使って口のトレーニングをしてくださったり、細かく時間割してくださっていると思います。				
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16				・通ってから成長している。 ・思います。				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	1		1	・毎回違うカードや遊び、本等、工夫してくださっていると思います。 ・色々内容を組み合わせてくれていて、それが月ごとに確認できるので分かりやすい。				
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	8		4	4	・保育園があります。				
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16				・分からないことは全て教えてくださいました。				
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16				・子どもの事を相談しながら説明してくださいました。				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	2	3	4	・HUG等で情報がわかってよいです。 ・仕事や兄弟児の関係で、参加が難しく「分からない」にしました。				
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	15			1	・HUGできていますと思います。 ・送迎時に、最近の様子や家での様子を聞いてくれる。				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11	3	1	1	・助言をしていただいております。				

保護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15	1			・理解しようと色々考えてくださっていると 思います。・とても良くしてもらって いて、子の事を思ってくれているのが わかる。		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	1	5	7	・保護者同士は特に交流はなくて大丈夫。 ・交流等はないですが、特に必要と感じ ていません。・兄弟への支援は、年齢も 広く難しいところだと思います。		
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15				1	・LINEやHUGで伝えやすいかと思いま す。 ・相談事がある時に、どのタイミングで 聞いたらいいか難しい。送迎時だと他の 子もいるので、時間を取らせたら申し訳 ないと感じる。	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16					・写真や記録が残っているので、配慮が 伝わってきます。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	16					・カレンダーを見てわかり助かりま す。・その日の様子が写真付きで見られ るのは分かりやすく、とても満足だが、 たまに内容が自分の子の様子なのか、周 りの子の様子なのかが分かりにくい。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15	1				・写真でも個人でしか映っていなかった り、留意されていると思います。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11				5	・地震等が起きた場合に、連絡とれない 時は分かりません。 ・感染症等、流行時には家庭での対応も あるので教えてほしい。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	1			9	・訓練されているのかは分かりません。	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16					・車での事故対応等は分かりません。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14				2	・安心できる。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15				1	・安心して通う事ができている。 ・しています。・本当の所は分からない が、先生に懐いているので安心してい るのかな？と思う。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	15	1				・とても楽しみにしている。 ・先生やお友達に会える事を楽しみに準 備をしている。 ・行くときは、家が好きなので渋る事も ありますが、行って戻って来た時に楽し かったんだなと感じています。 ・行ってしまえば楽しんでいるようだ が、まだ送迎時に足が止まってしまう嫌 がる事がある。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	8	8				・良い事業所を選べたと思っている。 ・とても満足している。 ・十分やっていただいていると思いま す。 ・写真付きで、その日の様子を細かく教 えて頂き、分かりやすく、よく見て下さ りありがとうございます。	

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	ことばアドベンチャー江木校					公表日	令和8年 3月 6日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		安全に過ごせるよう、支援室のスペースを考えた上で、安全に配慮をしながら活動を行っている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		日々の清掃、消毒を実施。清潔を心掛けている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6				
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			今回が初回の評価となる。多くの声を頂き、より良い運営ができるように充実していく。日ごろから、保護者様のご意見や思いをお話頂けるよう心からの対応に努めていく。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		日ごろより話をする機会を設け、改善に努めている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6			今後も更に、多様な研修を受講できるよう、準備、実行していく。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6				

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6			
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6			
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		6		今後予定を考え、必要に応じて交流の機会を設けていく。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6				
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6				
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6			保護者様のご意見や考えを伺いながら、必要に応じて実施していく。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6			
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6			